



コガラ(小雀)は、北軽井沢ではヒガラに次いで小さな野鳥だ。しかしヒガラよりもずっと数が多く、小さいのに立場が強い。バード・テーブル(餌台)からシジュウカラやヤマガラを追い払って、独占する行動も見られる。コガラは全体的にふさふさした白い胸羽で、シジュウカラのような「黒いネクタイ」もないので、簡単に見分けられる。



ゴジュウカラ(五十雀)も多い。嘴が鋭く、樹皮のすき間の虫を捕えるのに適している。嘴から眼の後ろまで黒いラインがあり、キリリとした表情に見えるのが特徴だ。写真のようなポーズをよく見かける。



最後はヤマガラ(山雀)だ。橙色の胸羽が目立ち、決して見間違えることはない。シジュウカラとちがって、都会地で見かけることは稀で、名の通り高原を代表する野鳥だ。

警戒心が弱く、根気よく待つと、手のひらからでも餌を食べる。かつては、「おみくじひき」などの芸で、見世物としても活躍していた。



ヤマガラも巣箱をよく利用する野鳥の一つだ。写真はヒナが巣立ちする一瞬の貴重な写真である。



これは、シジュウカラ(左)とヤマガラ(右)が一つの巣箱を争っている、非常に珍しい場面だ。自然が豊かな北軽井沢でも、

これらの野鳥にとっては慢性的な「住宅難」で、人工的な巣箱ですら、奪い合いになることがあるのだ。